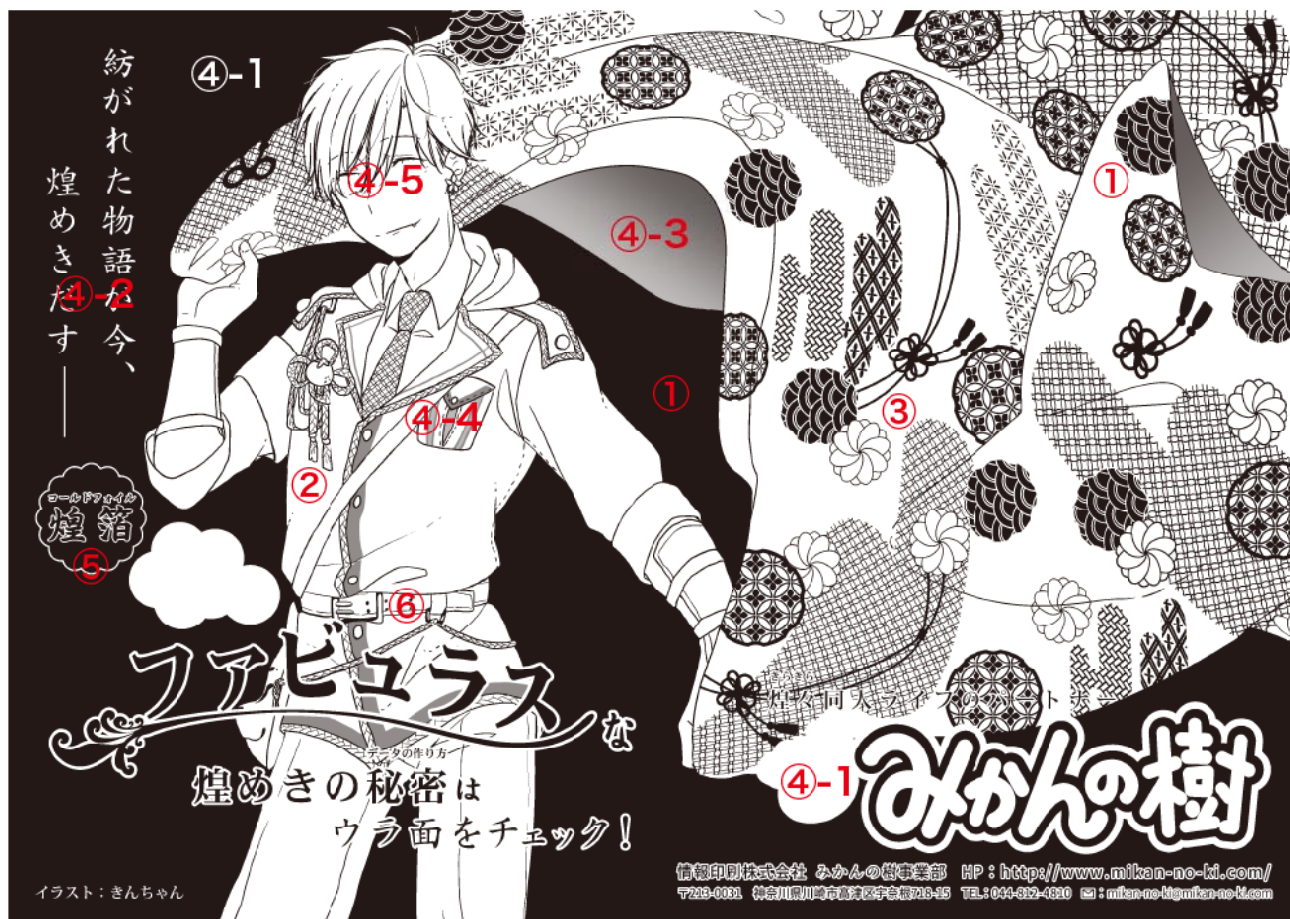


CMYK データ



煌箔（コールドフォイル）データ



- ①煌箔（コールドフォイル）は箔のカラーグラデーションが可能  
 →煌箔指定 K100%× カラーグラデーションでグラデーション箔に



- ②煌箔（コールドフォイル）は細線表現が可能  
 →キャラクターの主線をキラキラに



- ③ほぼ色ベタの上に部分的に（模様で）箔を乗せる  
 →光の当たり加減で浮き出るように



#### ④箔を乗せると銀色に沈み込む

- 背景にベタで 指定してキャラクターを浮かせる (④-1)
- 地の部分をベタで指定し、目立たせたい部分にはあえて箔を乗せない (④-2)
- 陰になる部分を表現 (④-3)※グラデーションで立体感も
- 服の柄を表現 (④-4)
- 目など、明るくていい場所は沈みすぎてしまうため、あえて箔を乗せない (④-5)



⑤色の指定がない部分に箔を乗せると銀色になる

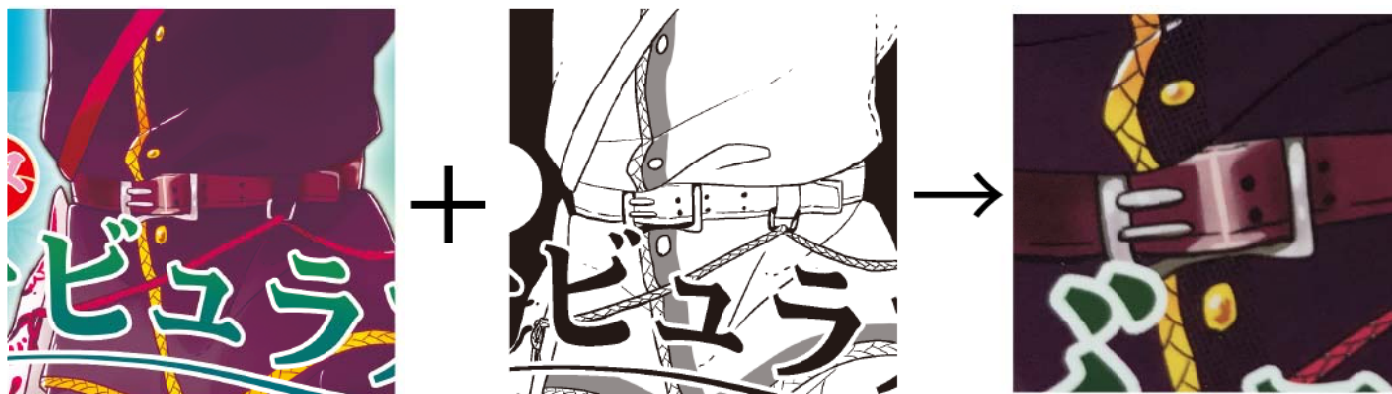
→「煌箔」の菊の主線は、文字を目立たせるため銀色に (⑤-1)



⑥メタリックな質感表現

→金属部分 (今回は服の装飾) に箔を乗せることでらしさを出す

※ハイライト部分は箔を乗せない



## 煌箔（コールドフォイル）データ作成の注意

- ・箔を乗せたい所を黒くする。
- ・グラデーション、中間色は **K30%~70%**の間にする。  
※印刷機の都合上、29%以下と71%以上の網点は
  - ・綺麗に再現ができない
  - ・マシントラブルの原因になるため印刷不可
- ・データはグレースケールモード、カラーデータと同じサイズ、同じ解像度で作る。

## 中の人からのワンポイントアドバイス

- ・迷ったら **100%**で。  
やってるうちにわからなくなったら「ここをキラキラさせたい！って所にだけ K100%で入れる」だけでも十分です。メリハリが利いてスッキリ仕上がります。
- ・寒色系は案外カッコよくなるのでオススメ。
- ・金色は Y の濃度が低いと若干沈み格好になります。  
**暖色（薄い色）に箔を乗せる場合はカラーデータの濃度に注意**しましょう。
- ・肌、目に箔の乗せるのは**明確が意図がない場合はあまりオススメしません。**  
部分的に入れる、カラーデータの濃度を調節するなど、工夫が必要な場合があります。
- ・わからないまま作業せず、早めに相談しましょう。  
どうなるかわからないから試してより良くするための**本機校正（実際の紙と印刷機で試し刷り）**です。  
有効活用してくださいね（`・ω・`）b